

令和5年11月15日 第2回消費者教育推進委員会説明資料

奈良国立大学機構（奈良女子大学）

研究院生活環境科学系教授 大塚 浩

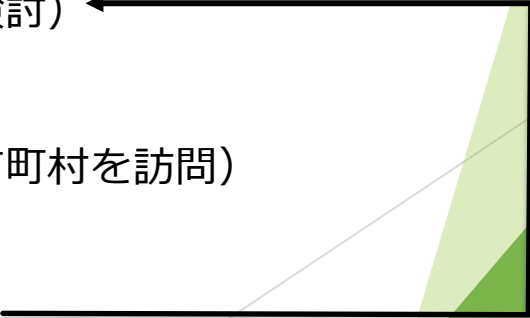
大学生と市民が「学び合う」ことで実現する地域・世代を包摂する消費者教育モデル構築の試み - 成年年齢引き下げや社会のデジタル化に伴う啓発／学習活動を通して -

消費者教育における課題

- ① 成年年齢引き下げ・・・若者が消費者被害に遭う危険性 ⇔ 経験豊富な大人のアドバイスが若者の助けになる
- ② 社会のデジタル化・・・児童や高齢者が消費者被害に遭う危険性 ⇔ 情報教育を受けた若者が児童生徒・高齢者の助けになる

大学生と市民が「学び合う」ことで実現する地域・世代を包摂する消費者教育モデル

⇒ ①②に対して同時に対応できる消費者教育の新しいモデル

- ・ ①②を踏まえた新しい消費者教育教材の開発（奈良女子大学学生を中心に検討）
 - ↓
 - ・ 新しい消費者教育教材を用いた啓発講座の開講（奈良女子大学学生が県内市町村を訪問）
 - ↓
 - ・ 啓発講座の結果を踏まえ、消費者教育教材・啓発講座のブラッシュアップ
- 

事業実施体制の
イメージ

連携自治体
東吉野村・下市町・大和郡山市



事業実施主体
奈良女子大学生生活文化学科
消費者問題研究会 (BEACS)
指導教員：研究院生活環境科学系 大塚浩
教育コンテンツ(教材)作成・啓発講座企画



人文社会系学生・教員
情報系学生・教員



奈良女子大学
生活協同組合



有識者・実務者
奈良教育大学・奈良県庁・
奈良県消費生活センター・なら消費者ねっと
奈良県生活協同組合連合会 等

連携自治体における啓発講座の実施予定①

- ・ 奈良県吉野郡下市町

奈良県のほぼ中央に位置する町。

人口4,627人 世帯2,306世帯

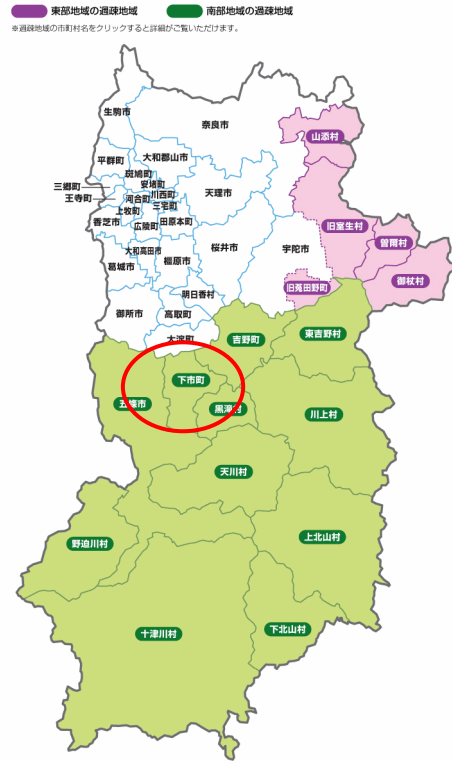
男性2,182人 女性2,445人

[2023年9月1日現在]

林業・農業等が盛んな中山間地域



写真出典：下市町役場HP、Facebook



- ・ ゲームと寸劇
- ・ 学生と町民が消費者問題について語る時間を設ける

消費生活に関する勉強会

—奈良女子大学生と一緒に学んでみませんか！—

日時：令和5年11月23日（木・祝） 10時30分から12時00分
14時00分から15時30分

会場：下市観光文化センター
（奈良県吉野郡下市町大字下市3071）

備考：当日は直接会場にお越しください。
午前・午後とも同内容です。

2022年4月に成年年齢が20歳から18歳に引き下げられました。成人になると親の同意を得ていなくても自分の意思で様々な契約ができるようになります。ただ、責任を伴う契約を行うためには、経験に即した確かな知識が非常に重要です。

一方、社会のデジタル化が急速に進んでいます。そうした中、子どもや高齢者がインターネットトラブル等に巻き込まれる被害が後を絶ちません。トラブル回避には正しい知識が不可欠です。

こうした社会においては個々人の学びに加え、異なる世代が共に学び合い、知識を補い合うことが非常に重要です。

そこで下記のとおり奈良女子大学生と下市町の皆さんとが共に学び合う勉強会を開催することにしました。勉強会においてはお一人お一人の知識や経験が非常に重要な価値を有しています。

ご年齢を問わず、多くの皆さんのご参加を心待ちにしております。



問合せ先：奈良国立大学機構企画課
Tel 0742-20-3692
hyoka@jimuu.nara-wu.ac.jp

連携自治体における啓発講座の実施予定②

・奈良県大和郡山市

奈良県の北部に位置する町。

人口83,317人 世帯 39,166世帯

男性 39,405人 女性 43,912人

奈良市や京阪神にも近い都市部

※都市部と農村部との違いも意識



大和郡山城跡 (写真出典：奈良県HP)



イオン大和郡山 (写真出典：イオンモールHP)

12月8日 (金)、12月15日 (金) に
消費生活センター等と連携して
講座実施予定

12月8日 (金)
市社協主催 高年者教養大学
「正しい消費生活を学ぶ」
(於:大和郡山市老人福祉センター)
→ 学生がクイズで参加

12月15日 (金)
「消費生活講座 (仮)」
(於:大和郡山市南部公民館)
市消費生活センターと共催
→ クイズ、消費者問題について
語り合う交流タイム

想定する事業の成果

- SDGsにも資するインクルーシブな消費者教育モデルの構築
→大学生と市民（児童生徒・高齢者）の学び合い、という誰一人取り残さない消費啓発講座のモデル化
- 成年年齢引き下げに伴う消費者問題の整理
→成年年齢引き下げを直接体験した20歳前後の大学生が参画
- デジタル社会における消費者問題の整理
→奈良女子大学生活環境学部文化情報学科
- 消費者教育教材の充実
→クイズ、寸劇 等の汎用性のある教材

教育研究組織と目標

文化情報学科



Sustainable Development Goals

国連 2030 アジェンダの柱、世界共通の 17 のゴール

Society 5.0

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する 人間中心の社会